学校番号	１００１

令和８年度　地歴科

教科	地歴	科目	観光学	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、観光の基礎的知識から、観光の歴史･観光地の形態･世界遺産など国内外の観光地を学び、自ら観光する者としての知識習得を目指す。また、宿泊産業・交通産業・観光に関する時事問題など観光客を迎え入れる側としての知識や思考なども学ぶ。
講義やスライドなど、目や耳に訴える教材だけでなく、実際にフィールドワークに行き、実物に触れ、様々なものを味わいながら、五感に訴える授業を目指す。

2　学習の到達目標

(1)観光の歴史･観光地の形態･世界遺産など国内外の観光地を学び、理解する。
(2)観光地の特色を多面的・多角的に考察し、考察した内容を基に議論する力を養う。
(3)観光を通して現代社会の問題に触れ、日本や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観光とは何かということから始まり、日本の観光地の歴史を辿ることで、観光にはどのような種類があるのかを調べたり、把握・理解したりする。また、世界遺産や観光産業の基礎知識を養う。	観光に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	観光に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国の人や国内の観光客と積極的にコミュニケーションをとり、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本と他国の文化を尊重する精神を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	観光の基礎知識	・観光の意味と意義 ・観光を構成する要素と観光資源・観光対象 ・フィールドワーク	a:観光の意義や目的、特徴、構成する諸要素など、観光の基礎知識を理解・把握している。 b:フィールドワークなどを通じて、観光の諸要素が身近な現実にどのように作用しているのかを認識し、他の地域との比較・検討・考察ができている。 c: 観光を通して、身近な社会の問題を解決してよりよくしていこうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート フィールドワーク
		・観光産業と観光ビジネス ・インバウンドと異文化理解 ・フィールドワーク	a: 産業としての観光や、観光の文化面についての基礎知識を理解・把握している。 b: フィールドワークなどを通じて、観光ビジネスやインバウンドが身近な日常にどのように作用しているのかを認識し、他の地域との比較・検討・考察ができている。 c: 観光を通して、異文化を理解し、身近な社会の問題を解決してよりよくしていこうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート フィールドワーク
後期	企画立案と実践	・フィールドワーク立案とプレゼンテーション、実践、振り返り	a:観光地の特色や歴史的・文化的背景など、フィールドワークを行うのに必要な情報を収集し、まとめることができている。 b:観光地の特色を踏まえたうえで、考察、構想したことを効果的に説明することができている。 c:観光地の魅力を調べ、そのよさを理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート プレゼンテーション	ワークシート フィールドワーク

		・前回の反省を踏まえてフィールドワーク立案とプレゼンテーション、実践、振り返り	a:観光地の特色や歴史的・文化的背景など、フィールドワークを行うのに必要な情報を収集し、まとめることができている。 b:観光地の特色を踏まえたうえで、考察、構想したことを効果的に説明することができている。 c:観光地の魅力を調べ、そのよさを理解しようとしている。	定期考査	ワークシート プレゼンテーション	ワークシート フィールドワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度